

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月28日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年9月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【高性能多核種除去設備建屋給気ファンの電気ヒータ電源喪失について】 高性能多核種除去設備建屋給気ファンにおいて「電気ヒータ電源喪失」を知らせる警報が発生し、当直員が現場を確認したところ、現場盤の電気ヒータ2の運転中表示ランプが消灯していることを確認。 電気ヒータ2が使用できなくても、他の3台が正常であること、および、電気ヒータの「ON」設定が10℃であることに對し、現在の室内温度が24℃であることから影響はない。 今後、原因を調査後、対応を検討予定。</p>	GⅢ	9月21日
2	<p>【残留熱除去海水系ポンプ(B)のモーター冷却水ストレーナ出入口弁フランジ部からのにじみ発生について】 残留熱除去海水系ポンプ(B)を起動したところ、モーター冷却水ストレーナ出入口弁(4箇所)のフランジ部よりにじみが発生していることを当直員が確認。 原因は、フランジパッキンの劣化によりにじみが発生したものと推定。 運転中、にじみは発生するが機能上は、問題ない。 今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	9月23日